

ランピースキン病の発生を国内で初確認!

ランピースキン病はランピースキン病ウイルスによる牛の伝染病で、今年11月6日以降、福岡県、熊本県において発生が確認されました。

主に、蚊、ハエ、ダニの媒介による伝播や、感染した牛の移動により感染が拡大します。

毎日の健康観察、害虫の防除、衛生管理区域内の清掃・消毒をお願いします。

主な症状

- ・発熱、鼻汁
- ・皮膚の結節
- ・泌乳量の低下
- ・リンパ節の腫大

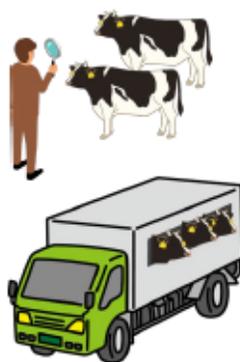


**疑わしい場合は
直ちに連絡!**

侵入防止対策

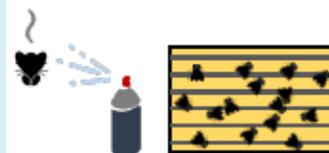
01 毎日の健康観察

早期発見・早期通報が重要。
疑わしい牛は隔離し、牛の導入、
出荷、移動時は健康観察を徹底。



02 害虫の駆除

殺虫剤の散布とともに、
粘着シート等も活用。



03 清掃・消毒

衛生管理区域内の整理整頓を徹底し、飼養管理に使用
する器具や畜舎等の施設は清掃と消毒を実施。